令和７年度３学期　学校評価（職員）

※１学期を振り返り「教育活動」について達成度を4段階で自己評価してください。

評価　　４　十分にできた　　３　ややできた　　２　あまりできなかった　　１　できなかった

番号	教育活動	項　　目	１学期	２学期	３学期
1	学習指導⑥ （自己実現を図るための学び）	単元テストや定期テスト，諸検査等から生徒の実態や課題の把握に努めることができたか。	3.3	3.2	3.5
		「学習者主体の授業」への改善を図り，生徒一人一人の学力に合った学習指導に努めることができたか。	2.7	3.1	3.1
		教育課程の確実な実施のために，授業時数を確保し，指導計画は予定通り進めることができたか。	3.3	3.3	3.3
		授業スタンダード（目標の明確化，山場の工夫，確かめと見届け）の実践に努めることができたか。	2.9	2.7	3.1
		ICT活用や教材・教具の工夫等を通して，分かりやすい授業の実践に努めることができたか。	2.5	2.8	2.8
		非認知能力（他者とつながる力・自分を高める力・自分と向き合う力・学びに向かう力等）の向上に努めることができたか。	2.7	2.8	2.9
2	保健・給食・体育指導③	給食の準備・片付けの見届け等，日常的な給食指導に努めることができたか。	3.4	3.6	3.4
		体育的行事やウォークデイ，またキャプテン会議等を通して，生徒の体力向上やけが防止の徹底に努めることができたか。	3.2	3.4	3.3
		早寝・早起き・朝ごはん運動，メディアコントロール，むし歯治療率の向上など，家庭と連携した指導・啓発に努めることができたか。	3.3	3.3	3.3
3	道徳・人権同和教育③	生徒の実態に応じた指導計画をもとに，確実な「道徳」の指導と工夫，評価の改善に，担任または学年部と連携をして，努めることができたか。	3.2	3.0	3.3
		教育活動におけるあらゆる場面において，実践につながる道徳教育や人権教育に意識的に努めることができたか。	3.3	3.2	3.2
		人権に関する研修等を通して「人権教育は，全ての教育の基本である」ということを認識し，人権感覚を醸成する指導に努めることができたか。	3.5	3.2	3.2
4	生徒指導⑥	家庭や関係機関と連携し，SOSの出し方や問題行動等の未然防止教育に積極的に努めることができたか。	3.3	3.0	3.1
		新規不登校予防のために，学年部や他の職員と連携し，早期対応に努めることができたか。	3.5	3.3	3.4
		相談員等専門スタッフと連携し，教育相談や支援体制の充実に努めることができたか。	3.3	3.2	3.4
		傾聴，受容，共感に基づく生徒理解を深めるための研修や実践に努めることができたか。	3.2	3.2	3.4
		日常の観察やアンケート等を通して，いじめ問題の早期発見や認知，早期対応に努めることができたか。	3.4	3.4	3.5
		毎週の生徒指導委員会を機能させるために，共通理解・実践できる校内支援体制に努めることができたか。	3.2	3.0	3.2
5	特別支援教育③	毎月の教育支援委員会を機能させるために，共通理解・実践できる校内支援体制に努めることができたか。	2.9	3.0	3.0
		個別の支援計画や指導計画の作成と活用に努めることができたか。	2.5	2.5	2.6
		特別支援教育支援員と連携を図り，授業や教育活動に取り組むことができたか。	3.1	2.8	3.1
6	進路指導③	職場体験，職業講話，高校訪問，専門校フェスタ等の体験活動を通して，生徒に進学や就職に対する意欲や目標を持たせることができたか。	3.2	3.0	3.2
		進路指導主任や他の中学校，高校と連携し，進路情報の収集や周知に努めることができたか。	3.1	2.8	2.9
		三者相談や進路相談等を計画的・日常的に行い，生徒の進路希望や適性に応じた個別支援に努めることができたか。	3.1	3.2	3.3
7	教育環境整備③ （安心して過ごせる環境づくり）	安全点検の結果を連絡・即時対応し，修繕や改善に努めることができたか。	3.3	3.2	3.3
		日常的な清掃指導や教室等の設営，校舎内外の美化に努めることができたか。	3.1	3.2	3.4
		ｸﾞﾘｰﾝ・ｸﾘｰﾝ週間等の活動を通して，校内緑化の充実に努めることができたか。	3.1	3.1	3.0
8	職員研修③ （Plantの活用）	服務指導を自分事として捉え，服務規律の厳正確保に努めることができたか。	3.6	3.6	3.7
		研究主題に基づいた授業の実践や研究に努めることができたか。	2.8	2.9	2.8
		小中連携研修会や校内外の研修会への積極的な参加に努めることができたか。	3.4	3.4	2.9

9	開かれた学校づくり③ （地域と共にある学校づくり）	学校行事や教育活動の取組について保護者や地域に対して積極的な情報発信に努めることができたか。	3.1	3.3	3.4
		教育活動に協力を得るために，地域行事に参加したり，保護者と信頼関係を築いたりすることに努めることができたか。	2.9	3.0	3.1
		地域の人材や施設，伝統芸能・文化等を積極的に活用することができたか。	3.2	2.7	2.5
10	業務改善③	See-Smileやスズキ校務を活用し，報告・連絡，事務作業等の負担軽減や簡素化に努めることができたか。	2.9	3.0	3.1
		毎週水曜日の定時退庁を意識して業務を遂行したり，年休を計画的に取得したりすることができたか。	3.1	2.8	2.8
		授業準備や教材研究，校務分掌に係る業務を計画的に進められるように努めることができたか。	3.3	2.9	3.1

【自由記述欄～各項目についてのご意見・反省等も含む】

・1年間の生徒指導に対する協力、ありがとうございました。不登校生徒への対応など、様々な先生方が関わることで改善も見えました。時間も労力も必要ですが、今後も粘り強く関わって行きましょう。
・テストまで、授業時数があと何時間あるのかわからず心配でした。また，２学期終了時に昨年度より２単元遅いことがわかり、できれば偏りなく授業を割り振ってほしいです。
・バスや送迎の都合などがあることは分かるが、放課後いつまでも残って校内をウロウロしたり、教室等でおしゃべりしている様子が見られた。特に大きなトラブル等はなかったが、今後も声かけや見届けをしていく必要はあると思う。
・合唱練習や生徒会活動などで、生徒が放課後教室に残って活動する様子が見られた。16：40以降に残って活動等をする場合は、事前に担当職員や保護者の許可を得て、計画的に活動するようにしていきたい。
・毎週、火曜日、木曜日の生徒会活動の時間で、専門部ごとの活動を行うことはできないか？また、学習部、保体部だけでなく、他の専門部でも全校生徒で取り組める活動などを実施してはどうか？
・学校全体（ときには校外にも）聞こえているので、放送での生徒個人名の呼び出しは極力控えた方が良いと思う。また、連絡等も緊急の場合を除いては、事前に示した内容を理解し、指示されたことを記憶して、生徒が自分たちで考えて行動できるような環境をつくり、子どもたちの行動、実践していく力を育てていく機会にしていきたい。
・定期的にタブレットの使い方について注意喚起を行う必要があるように思う。休み時間や朝、放課後の時間の使用、画像、動画、サイト等のコピーやダウンロード等、なんでも気軽に行っている生徒がいる。
・スマホの使い方について、生徒に講話を行ったが、状況は保護者、職員も同じだと思うので、教職員も生徒の前でのスマホの使用はできるだけ減らしていけたらいいと思う。
・むし歯治療が必要な生徒１７人中１３人が治療ずみ。７６．５％の治療率（２年生は全員治療済み）。御指導ありがとうございました。
・保健指導係会で意見をまとめた結果，来年度も「メディアチェックカード」，「スマホ・ネット依存度チェック」を毎学期実施するという意見でした。他に御意見があれば教えてください。
・３学期の授業をはじめ，学校行事・生徒会活動など生徒の成長を感じさせる印象深い取組がなされてありがたく思います。企画・準備・運営など大変ご苦労をおかけしましたが，その分，生徒の心に残る印象深いものばかりでした。
・生徒指導，保護者対応においては，保護者の考え方や家庭教育が多様化していきているので，今後とも新入生をはじめ一人一人に寄り添った対応をよろしくお願いします。